

議題（４）追加資料

国と小田原市の乳児等通園支援事業(こども誰でも通園制度)に係る制度比較表

項目	国の想定している制度	令和8年度の小田原市の制度
実施可能施設	認可保育所、認定こども園、家庭的保育事業、小規模保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業、企業主導型保育事業、幼稚園、地域子育て支援拠点事業所等	認可保育所、認定こども園、家庭的保育事業、小規模保育事業、事業所内保育事業、居宅訪問型保育事業、企業主導型保育事業、幼稚園、地域子育て支援拠点事業所等
対象児童	次の施設等を利用していない児童 (認可保育所、認定こども園、家庭的保育事業等、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業、企業主導型保育事業)	次の施設等を利用していない児童 (認可保育所、認定こども園、家庭的保育事業等、小規模保育事業、居宅訪問型保育事業、事業所内保育事業、企業主導型保育事業)
対象年齢	生後6か月～3歳の誕生日の前々日	生後6か月～3歳の誕生日の前々日
利用可能時間	月10時間程度を上限	月10時間を上限
利用方式	定期利用(特定の事業所を利用、曜日・時間固定も可能) 柔軟利用:様々な事業所を利用する方法	利用可能時間の範囲で定期利用を推奨 ※たちばなこども園については、曜日を固定した1回2時間程度の月4回コース等を想定
保育方法	一般型:事業所の保育定員等とは別に当該事業の定員等を設けて受け入れる方法 余暇活用型:事業所の保育定員等の空きを活用して受け入れる方法	導入を希望する園の状況で判断 ※たちばなこども園は一般型
利用料	令和8年度 上限300円／1時間	※たちばなこども園は 1時間につき300円
利用者決定方法	保護者による直接予約	保護者による直接予約 なお、利用希望者は事前に面談の上、利用方式を決定する。